

省インフラスキルマップ プレゼンテーションイベント

2024年10月3日（木） 14時～16時

- 1400 開会、代表幹事挨拶 大西一史 熊本市長
1410 趣旨説明 東洋大学 根本祐二教授
1415 省インフラスキルマッププレゼンテーション

参加企業・機関 各10分（計80分）

東洋大学
パナソニック
日本スマートエネルギー認証機構
大成ロテック
パスコ
エイト日本技術開発
東芝インフラシステムズ
長大

- 1535 質疑応答・感想
ZOOMのチャットツールでもご質問ください
（東洋大学根本あて、または、全員あて）
プレゼン中でも構いません

- 1600 イベント終了、閉会

省インフラスキルマップ

省インフラメニュー（すべてのインフラに有効）

高度成長期に集中的に整備されたわが国の公共インフラは、今後一斉に老朽化することが見込められており、更新投資財源の確保や、安全性の維持など多くの課題を抱えています。東洋大学PPP研究センターでは、こうした状況を踏まえて、「できるだけ公共サービスとしての質を維持しつつ、最大限費用を削減できるインフラの建設・維持管理・運営技術やサービス」を「省インフラ」と総称し、その開発と普及に努めてまいりました。その一環として、省インフラに関係する民間企業と連携して任意団体省インフラ研究会を設置・運営しています。また、省インフラに関心の高い地方自治体が組織している資産経営・公民連携首長会議とも連携し、省インフラの自治体への導入を図っています。右の省インフラメニューはその集大成で、すべての種類のインフラに有効な方法を体系化したものです。地方自治体担当者はご自分の担当分野で何が使えるかを常にお考えいただくツールでもあります。

種類		公共施設（建築物）	土木インフラ	イメージイラスト
現状のインフラを前提にする方法	機能を維持して量を削減する方法	●広域化（他自治体との共同設置） ●ソフト化（民営化、民間施設利用） ●集約化（統廃合） ●共用化（学校と地域で同一施設共用） ●多機能化（機能移転、複合化）	●間引き（例：歩道橋廃止）	機能を維持して量を削減する
	量を維持して費用を削減する方法	●LCC削減 ・予防保全（点検・診断・評価、保全計画） ・リスク・ベース・マネジメント（RBM）：重要度に応じて管理水準・保全方法を変える		量を維持して費用を削減する Life Cycle Cost
新しいインフラに変更する方法	施設やネットワークを使わない方法	●分散処理（非ネットワークインフラ、例：再生可能エネルギー、合併処理浄化槽、専用水道） ●デリバリー（配達、例：給水車、移動図書館、訪問診療） ●バーチャル化（IT利用、例：電子図書館、遠隔医療、遠隔教育）		施設やネットワークを使わない
	サービスの受け手が移動する方法	●移転・集住（例：コンパクトシティ、集団移転）		サービスの受け手が移動する
収入を増やす方法		●利用料改訂 ●公的不動産		収入を増やす
合意を形成する方法		●広報、啓発 ●アンケート、ワークショップ		合意を形成する

今回発表する「省インフラスキルマップ」は、省インフラメニューの提供企業・機関（企業グループ）のスキルを全体として提示することで、国、地方自治体にとっての魅力を分かりやすく伝えるとともに、各社様の既存技術のたな卸し、新しい技術開発のチャンスを探すツールとして使えるようにしたものです。右端のイメージイラストが全体における位置づけを示しています。

機能を維持して量を削減する



量を維持して費用を削減する



施設やネットワークを使わない



サービスの受け手が移動する



収入を増やす



合意を形成する

